

司書のおすすめD 第38回 難民を考える  
展示期間 2017年10～11月

請求記号	タイトル	著者	出版者	出版年
N369.3-107	難民の世紀～漂流する民：フォト・ルポルタージュ	豊田直巳著	出版文化社	2002.9
N369.3-85	「難民」とは何か	小泉康一著	三一書房	1998.4
N369.3-108	緒方貞子：難民支援の現場から	東野真取材・構成	集英社	2003.6
N369.3-106	私の仕事：国連難民高等弁務官の十年と平和の構築	緒方貞子著	草思社	2002.12
N369.3-129	紛争と難民：緒方貞子の回想	緒方貞子著	集英社	2006.3
N369.3-112	アンジェリーナ・ジョリー思いは国境を越えて	アンジェリーナ・ジョリー著	産業編集センター	2003.12
N369.3-217	UNHCR：the politics and practice of refugee protection	Alexander Betts, Gil Loescher and James Milner	Routledge	2012
N369.3-210	難民・強制移動研究のフロンティア	墓田桂 [ほか] 編著	現代人文社	2014.3
N329.2-148	難民の地位に関する法	ジェームス・C.ハサウェイ著	現代人文社	2008.5
N369.3-100	難民と人権：新世紀の視座	難民問題研究フォーラム編著	現代人文社	2001.2
N369.3-111	難民の国際的保護	川村真理著	現代人文社	2003.11
N369.3-224	グローバル時代の難民	小泉康一著	ナカニシヤ出版	2015.1
N369.3-146	グローバリゼーションと国際強制移動	小泉康一著 = Globalization and the dynamics of forced migration	勁草書房	2009.3
N369.3-154	難民問題と『連帯』：EUのダブリン・システムと地域保護プログラム	中坂恵美子著	東信堂	2010.9
N369.3-209	難民問題のグローバル・ガバナンス	中山裕美著	東信堂	2014.3
N369.3-91	難民からみる世界と日本：アムネスティ・インターナショナル日本支部人権講座講演録	アムネスティ・インターナショナル日本支部編	現代人文社	1998.4
N369.3-130	知っていますか？日本の難民問題一問一答	アムネスティ・インターナショナル日本編著	解放出版社	2004.1
N369.3-137	我が国と難民問題：激変の時代：昨日--今日--明日	山神進著	日本加除出版	2007.7
N369.3-153	難民への旅	山村淳平著	現代企画室	2010.1
N369.3-206	国際強制移動とグローバル・ガバナンス	小泉康一著	御茶の水書房	2013.11
N369.3-207	「ベトナム難民」の「定住化」プロセス：「ベトナム難民」と「重要な他者」とのかかわりに焦点化して	荻野剛史著	明石書店	2013